



マグネットプレートが
必要です (p.16 参照)



Web ページ番号

2064



マグネットプレートが
必要です (p.16 参照)



Web ページ番号

70552



神経細胞用トランスフェクション試薬

NeuroMag

無料サンプル品あります

使用文献
300
以上!

大脳皮質, 海馬, 運動ニューロンなど多種多様な初代神経細胞に高いトランスフェクション効率を誇ります。

導入
分子

プラスミド DNA,
オリゴ DNA,
siRNA などの核酸

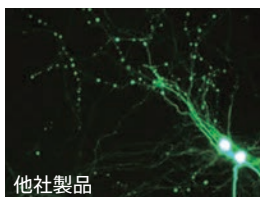
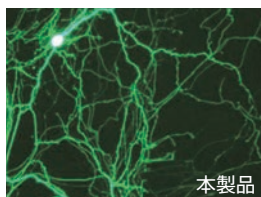
初代神経細胞,
神経細胞株,
グリア細胞株

導入先

特長

- 1~21 日培養した初代神経細胞に使用できます。
- 導入された遺伝子の発現レベルは高い状態で長期間維持されます。
- 細胞毒性が低く, 血清存在下でも使用できます。

使用例



ラット海馬初代神経細胞に pEGFP を導入した例

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
NeuroMag サンプル	OZB	NM50200	65 回 / 200 µl / 50,000
	OZB	NM50500	165 回 / 500 µl / 110,000
	OZB	NM51000	330 回 / 1,000 µl / 197,000
NeuroMag Starting Kit	OZB	KC30800 with Super Magnetic Plate	1 kit / 172,000
	OZB	KC30896 with Magnetic Plate	1 kit / 161,000
	NeuroMag (200 µl) とマグネットプレートを含むセット。		

こちらもオススメ

固相トランスフェクションプレート作製受託サービス

細胞を接種するだけでトランスフェクションができる培養プレートを作製する受託サービスです。

CytoPathfinder

Web ページ番号

63670



NEW

器官外植片への トランスフェクション試薬 XPMag

使用文献
6

器官型培養を行っている外植片への“リバースマグネトフェクション”が行えるトランスフェクション試薬です。

導入
分子

核酸

器官外植片

導入先

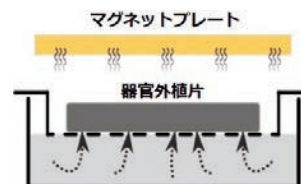
MEMO

リバースマグネトフェクションとは

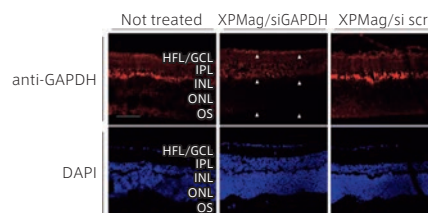
器官外植片の最も深い層まで核酸を到達させることができ, 核酸 (DNA および siRNA) ベースの遺伝子治療への応用が期待される非毒性の新しい手法です。マグネットプレートの磁力により, 核酸/XPMag 複合体を培地から組織に導き, 凝縮させます。この新しいトランスフェクションの手法は, 十分に生体適合性があり, アポトーシスや炎症反応を誘導しません。

方法

- ① 磁性ナノ粒子からなるトランスフェクション試薬 XPMag と導入する核酸を混合し, 核酸/XPMag 複合体の形成後に培地に加える。
- ② ポリカーボネート製メンブレン上に核酸を導入する器官外植片を置き, 核酸/XPMag 複合体を含む培地表面上面に設置する。
- ③ 上方からマグネットプレートの磁力によって培地中の核酸/XPMag 複合体を引き付けることで, 目的の核酸を器官外植片の内層にトランスフェクションすることができる。



使用例



網膜の全層に渡る遺伝子サイレンシング

トランスフェクションの 72 時間後, GAPDH に対する抗体を用いた免疫染色によって遺伝子サイレンシングを評価した。

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
XPMag NEW	OZB	XP00250	250 µl / 63,000
	OZB	XP00500	500 µl / 110,000
XPMag Starting Kit NEW	OZB	KXP0250	1 kit / 185,000
	XPMag と Super Magnetic Plate (#MF-10000) のセット。		